

## 垂水市大野原地区 奉納棒踊り開催について

標記の件につきまして、下記のとおり大野地区より情報発信依頼がありましたので、お知らせいたしますので、よろしければ、取材方お願いいたします。

■資料 本紙を含む2枚

### ■概要

桜島大正大噴火で移住、開拓してできた大野原地区。開拓当時は荒れた土地を開拓する過程で疲弊した住民を鼓舞するため棒踊りで士気を鼓舞して住民を元気づけようと垂水市水之上地区より「棒踊り」が伝えられました。大野原地区の棒踊りは棒をたたき合う激しく勇壮な踊りとして知られています。今年も長年続く地域の豊年祭で棒踊りを披露します。

少子高齢化の影響で大野原地区の奉納棒踊りの踊り手も不足する中、地元の青年部を中心に、交流のある鹿児島大学の学生さんたちもここ数年一緒に踊っており、今年も連日踊りの練習を重ね当日の奉納棒踊りに向け頑張っています。

地域と大学との連携と言う形でもいい関係が築かれています。

### 垂水市大野原地区豊年祭・奉納棒踊り

■日時 令和元年 11 月 4 日（月）午後 2 時頃～

■場所 垂水市大野原 大羽重神社境内（〒891-2104 垂水市田神字大羽重 3724）

■その他 12 月 1 日（日）、毎年恒例の「第 10 回大野原（うのばい）いきいき祭り」も開催されます。こちらもぜひ、取材方よろしくお願いたします。

### ■問い合わせ

実行委員会 宮下直弥 090-2519-9138

### ■情報発信元

垂水市役所企画政策課秘書広報係 倉岡 ☎0994-32-1111（271）

## 追加資料

### ◎垂水市大野集落に伝わります「大野棒踊り」

この「大野棒踊り」は、今から 400 年前関ヶ原の合戦に敗れた島津義弘公が、郷土の意気消沈した郷土の士気を鼓舞するため武芸の技を踊りに加えたものであり、江戸時代になり元禄時代を過ぎると武士の踊りから農民の田植え踊りに変わり、国分隼人の鹿児島神宮のお田植え祭りに奉納されるようになり広く県下で踊るようになったといわれます。

県下の棒踊りの起源は、だいたい同じようですが、時代とともに伝わりながら各地の棒踊りの違いが出てきたようです。

その後、大正の初期「川原八十」という人が薩摩半島から棒踊りを持ち帰り井川新光寺に伝えました。

大正 3 年 1 月 12 日。桜島大噴火により、大野原集落に各地(桜島・海淵・水之上など)から移住し、開墾が行われました。その当時、住民一同が疲れている様子に、井川から移住された中村源三氏が、士気を鼓舞しようと大野原青年団に教えられたのが「大野棒踊り」の始まりです。

一時途は途絶えてしまいましたが、現在は地元住民と交流のある鹿児島大学の学生の協力で、存続させることができ、毎年 11 月の豊年祭で奉納棒踊りとして披露しています。

担い手の減少などで今年は棒踊りの実施が危惧されましたが 9 月、地域の若者たちが集まり棒踊りについての話し合いが行われ、自分たちが踊れる限りは続けたいという熱い思いを共有し今年も頑張ることにしました。

ぜひ、このような伝統が受け継がれていることを多くの皆様に知っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 棒踊り夜間練習（鹿児島大生と若者の合同練習）

■日 時 10 月 28 日（月）、11 月 1 日（金） いずれも午後 7 時より

■場 所 大野公民館